

2026年7月の運用状況

アジア半導体関連フォーカスファンド(愛称 ライジング・セミコン・アジア)
追加型投信/内外/株式

- 当ファンドは主要な投資対象である「Next Generation Semiconductor Asia Fund(円建て、ヘッジなしクラス)」(以下投資先ファンド)への投資を通じて日本を含むアジア半導体関連企業に投資を行っています。
- 本レポートでは、足元の投資環境、運用経過に加え、現在注目している半導体関連銘柄についてご紹介致します。



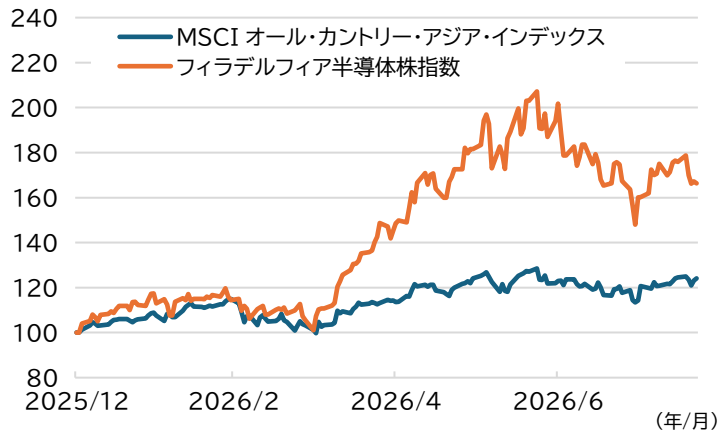
足元の投資環境について

7月のアジア株式市場では、テクノロジー株が多い韓国や台湾が下落する展開になりました。戦闘終結に向けた協議中であるにも関わらず米国とイランが軍事衝突を繰り返し、中東情勢に対する懸念が燃える状況が続き、地政学的リスクを背景としたインフレ懸念が意識されました。また、FOMC(米連邦公開市場委員会)で政策金利が据え置かれたことで、インフレに対して金融政策が後手に回る「ビハインド・ザ・カーブ」の懸念も台頭し、米長期金利が大きく上昇しました。こうしたなか、AI・半導体関連株を中心に大幅に下落する展開となりました。8月に入ってから、AI・半導体関連株は値動きの荒い状態が続いています。

フィラデルフィア半導体株指数の7月の月間騰落率は-20.6%となり、MSCIオール・カンントリー・アジア・インデックスの-1.9%を大きく下回りました。

図表1 主要株価指数の推移

(期間 2025年12月31日～2026年8月21日、日次)



※2025年12月31日を100として指数化
※各指数は配当込み、米ドルベース

(出所)Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

※各指数は、当ファンドのベンチマークではありません。
市場をご理解いただくための参考としてお見せしています。



運用経過

当ファンドの基準価額は、投資先ファンドで組み入れているアジアの半導体関連株の多くが下落した結果、7月の月間騰落率は31.6%下落となりました。

7月は、年初来の株価上昇が顕著だった韓国の半導体メーカー「SKハイニックス」や、日本の半導体メモリーメーカー「キオクシア・ホールディングス」、台湾の電子部品メーカー「ユニマイクロ・テクノロジー」などの株価が前月末比で20%以上下落し、基準価額にマイナスに影響しました。

一方、半導体関連のサービスを提供するマレーシアの「フロントケン」や台湾の電子部品メーカー「ビズリンク・ホールディングス」、中国の自動車部品メーカー「ホライズン・ロボティクス」などの株価が底堅く推移し、パフォーマンスの下支えに寄与しました。

図表2 基準価額の推移

(期間 2024年7月17日(設定日)～2026年8月21日、日次)



※基準価額:信託報酬控除後

※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



銘柄紹介: フロントケン(マレーシア)

フロントケンは、1996年に設立されたマレーシアの半導体関連サービス企業であり、精密洗浄(半導体部品の洗浄)や表面処理(コーティングや改質)、保守整備(部品や設備の維持)、再生対応(部品寿命の延長)などの支援サービスと、石油・ガス企業向けの修理・保守サービスを中核事業として行っています。

同社は、台湾やマレーシア、シンガポール、フィリピンなどに拠点を展開しており、半導体メーカーに加え、光電子工学、石油・ガス、石油化学といった分野の企業を顧客としています。

製造装置の安定稼働を支える黒子型企业

フロントケンはマレーシア企業ですが、最近では、台湾の先端ファウンドリ企業(受託製造企業)からのハイパフォーマンス・コンピューティング(HPC)需要が旺盛であることを受けて、台湾の売上高構成比率が足元では74%にまで高まっています。

同社は、新品の部品自体を製造するのではなく、半導体製造装置の部品に対して、精密洗浄や表面処理、各種メンテナンスサービスを提供しているのが大きな特徴です。装置の部品の性能維持・再生を通じて半導体製造装置の安定稼働を支える役割を担うことで、AIや半導体関連に対する需要拡大の恩恵を間接的に受けていると言えます。

AI、HPC、車載エレクトロニクスからの需要が拡大

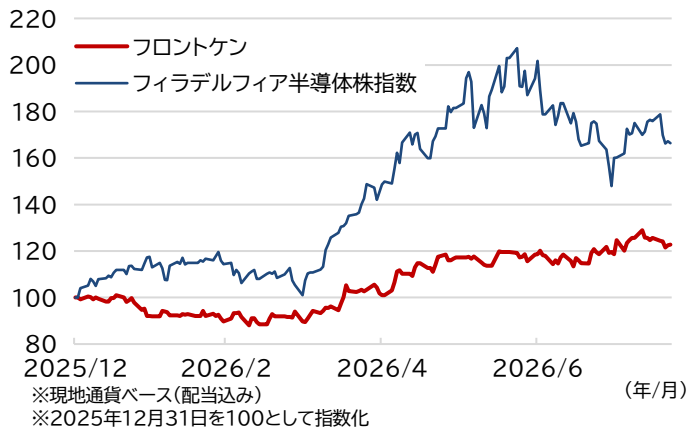
フロントケンの2026年4-6月期の売上高は、台湾やマレーシアにおける事業の好調を背景に、前年同期比19.5%増の1.9億マレーシアリングギット、調整後純利益は同42.3%増の0.5億マレーシアリングギットと、大幅な増益を達成しました。

同社は、半導体関連事業について、AIやHPC、車載エレクトロニクス、先端製造技術に支えられた長期的な構造的需要が引き続き追い風になるとの見解を示しました。同社の業績は来年度にかけて、堅調に推移することが期待されます。

※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

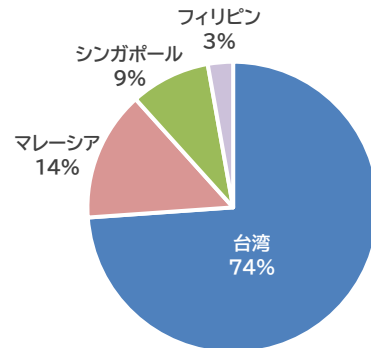
図表3 株価の推移

(期間 2025年12月31日～2026年8月21日、日次)



図表4 国・地域別売上高構成比率

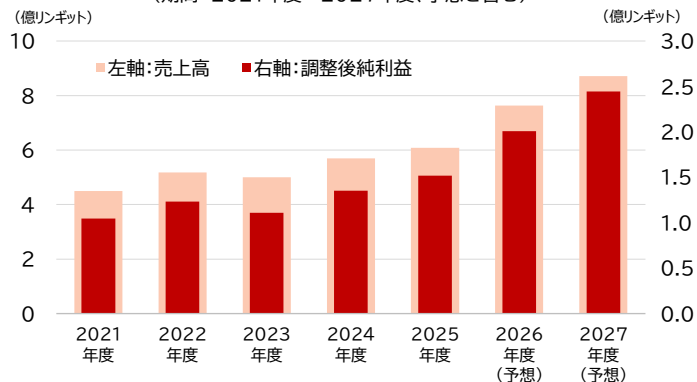
(2025年12月期)



※小数点第1位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。

図表5 売上高と調整後純利益の推移

(期間 2021年度～2027年度、予想を含む)



※2026年度以降は予想値

(図表3-5出所) Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



(ご参考)記事紹介:

「東アジア半導体産業の優位性、簡単には崩れず」

香港と台湾にいる当ファンド（アジア半導体関連フォーカスファンド）の運用者には、実際にメーカーで半導体設計に携わった者もあり、台湾積体電子製造（TSMC）の経営陣など、強いネットワークを持つ。私は半導体業界に精通する運用チームと日々議論しながら、日本の投資家に運用状況や見通しを伝える役割を担っている。世界の半導体産業を見ると、時価総額では北米企業が、大きな割合を占めているが、企業数で見ると圧倒的にアジアが多い。時価総額5000万米ドル（約79億円）以上の世界の半導体関連企業922社のうち、北米はわずか86社にとどまる一方で、アジアが788社を占めている。実際の製造や供給網は東アジアが中心で、世界の半導体産業はアジアなしでは成り立たない構造になっている。



ニューバーガー・バーマンの
小出明弘グローバル株式・マ
ルチアセット運用部長

ニューバーガー・バーマンの
小出明弘グローバル株式・マ
ルチアセット運用部長

「もはやAIIエヌビディアではない」
アジア半導体夏の陣③

東アジア地域には長年かけて形成された産業クラスターが存在しており、人材や技術の蓄積、産官学連携が厚い。半導体は一朝一夕では築けない産業だ。そのため、アジアの優位性は簡単（AII）の急速な普及によって最も恩恵を受けているのは韓国と台湾だ。それぞれの株式市場に占める半導体関連企業の比率が高いためだ。最近では韓国市場が世界のAI投資センチメントを映す「体温計」のような存在になっている。中国の半導体産業については、米国の輸出規制によって先端半導体では依然として不利な立場に置かれている。しかし、中国には巨大な国内市場と政府による強力な支援があり、汎用品分野では存在感を高めている。ファンドでは現在、中国企業への投資はないものの、中国がアジア半導体市場において無視できない存在であることは間違いない。もはや「AII=エヌビディア」という時代ではなくなりつつある。AIインフラが本格的に社会実装される中、単に画像処理半導体（GPU）メーカだけでなく、その周辺の部品や設備メーカーに投資機会が広がっている。19世紀のゴールドラッシュで最も早くかったのは金を掘った人ではなく、つるはしやジーンズ

アジア半導体関連フォーカスファンド の組み入れ上位		
順位	銘柄名	比率
1	SKハイニックス	5.7%
2	サムスン電機	5.4
3	キオクシア (285A)	5.1
4	台湾積体電子製造 (TSMC)	4.0
5	聯発科技 (メディアテック)	3.2
6	村田製 (6981)	3.2
7	創意電子 (グローバル・ユニチップ)	3.1
8	MPIコーポレーション	3.1
9	ホン・プレジジョン	3.0
10	イビデン (4062)	2.9

(注) 6月末時点

を売った企業だったように、AI時代も同じ構図だ。現在の半導体業界では、GPU以上に「広帯域メモリー(HBM)」と呼ばれる高性能メモリーの不足が深刻になっている。メモリー不足が続けば、生産能力増強のための設備投資が必要になる。そのため現在メモリー関連銘柄だけでなく、製造装置メーカーの比率をファンドでは高めている。今起きていることの次に何が起これるかを考えることが重要だ。メモリー不足が起これば設備投資需要が発生し、その恩恵は製造装置や素材メーカーへ波及する。HBM向け装置を手掛けるTOWA(6315)、韓国のハンミ半導体、エヌビディア向け検査装置を供給するアドバンテス(6857)など、多くの周辺企業が恩恵を受けている。半導体製造は数千もの工程で構成され、一度採用された部材や装置は置き換えられにくい。そのため、関連企業にも長期的な成長機会が生まれる。

※黄色のハイライトは、SBI岡三アセットマネジメントが加筆

(2026年8月8日 日経ヴェリタス)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

アジア半導体関連フォーカスファンドに関する留意事項

【SBI岡三アセットマネジメントについて】

商号:SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人資産運用業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「特定の業種・テーマへの集中投資に係るリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」、その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
 - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込の受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込の受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込の受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料： $\text{購入金額(購入価額} \times \text{購入口数)} \times \text{上限} 3.3\% \text{(税抜} 3.0\%)$
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：一口につき、換金申込受付日の翌営業日の基準価額 $\times 0.3\%$

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用(信託報酬)： $\text{純資産総額} \times \text{年率} 1.2925\% \text{(税抜} 1.175\%)$
運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担： $\text{純資産総額} \times \text{年率} 1.9425\% \text{程度}$
※実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
監査費用： $\text{純資産総額} \times \text{年率} 0.0132\% \text{(税抜} 0.012\%)$
有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用等を間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

<本資料で使用しているインデックス>

- MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

販売会社一覧（2026年8月28日現在）

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。
なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
FFG証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第5号	○			○
岡三ビジネス&テクノロジー証券株式会社	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

※株式会社SBI証券は、一般社団法人日本STO協会にも加入しております。

委託会社
お問い合わせ先

電話番号
03-3516-1300(営業日の9:00~17:00)

ホームページ
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>